

平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人病理技術研究会

1 事業の成果

病理技術に関する研究会開催事業では、病理技術関連業務に従事あるいは学ぼうとする者に対して病理技術の進歩と知識の向上および最新技術情報交換などの事業を2回開催した。平成26年8月3日（日）に第90回日本病理組織技術学会の開催し、「情報コーナー」、「一般演題」、「特集コーナー」、「90回記念講演」のセッションを設けて10演題の講演を行い160名が学会に参加した。平成27年3月1日には第91回日本病理組織技術学会を開催し、「一般演題」、「工夫コーナー」、「特集コーナー」のセッションを設け6演題の講演を行った。また、この学会では特殊染色コンペとして「PAM染色」を行って各施設間の情報交換なども実施して185名が参加した。

学会誌発行は、平成26年7月20日に「病理技術」第77巻第2号を発行し、平成27年1月15日には「病理技術」第78巻第1号の計2回を発行した。学会誌にはサービスとしてカラーページ（図）も掲載しており、病理検査室以外にも病理技術に関わる多くの方に高度な技術を提供することができた。

今年度も当会とサクラファインテックジャパンが力を合わせ、病理組織技術に関する実技実習講座を平成26年9月27日（第10回）、平成26年11月30日（第11回）、平成26年12月3日（第12回）に開催した。研修会場は、サクラファインテックジャパン株式会社のラボ・スクエア（東京）で行い計20名が参加した。講師は、臨床検査同学院認定の一級臨床検査士（病理学）による、マンツーマン方式による講義と実習による技術講座を実施し参加者より大変好評を得た。

「基礎病理技術学」は、平成25年5月1日に病理技術研究会設立50周年記念事業として当会が発行した技術書であるが、までに会員および一般の市民に対して情報提供を行い高い評価を得ている。今年度は、臨床検査技師国家資格を目指す学生の教科書として使用していただくため、各専門学校や大学へ見本やカタログを送付したが、多くの学校にて教科書として採用された。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び数	支出額（千円）
病理技術に関する講演会、学術集会の開催事業	病理技術全般に関する研究発表や講演会および情報交換を行う。 （第90回日本病理組織技術学会）	平成26年8月3日（日） 9：30～13：35	慈恵医科大学講堂	実務委員、運営委員 25名	参加者160名	450
病理技術に関する講演会、学術集会の開催事業	ラボ・スクエア 実技・実習講座 第11回、12回開催	平成26年9月27日、11月30日、12月3日 計3回開催	サクラファインテックジャパン株式会社 ラボ・スクエア	実務委員、運営委員 10名	参加者20名	0
病理技術に関する普及啓発事業	平成26・27年開催の研究会での講演、発表の原著並びに特集の記録誌の発行。 （第89～90回日本病理組織技術学会）	平成26年7月15日、平成27年1月15日	出版社より郵送による情報提供	編集委員 査読委員 10人	一般市民対象：600部	1,903
病理技術に関する講演会、学術集会の開催事業	病理技術全般に関する研究発表や講演会および情報交換を行う。 （第91回日本病理組織技術学会）	平成27年3月1日（日） 9：30～12：55	慈恵医科大学講堂	実務委員、運営委員 約20名	参加者185名	240

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
病理技術やその他の の刊行物発行业	平成25年度発行に向けての病理技術 の基礎的技術書のDVD発行準備予定 (病理組織技術に関するテキスト平 成27年度編集予定)	未実施			0
電子メディアを利 用した病理技術に 関する情報提供事 業	平成27年度に運用開始に向けて病理 技術ホームページに基礎技術の解説 ムービーを編集作成し掲載準備予定 (会員専用や一般公開用サイト構築 中)	未実施			0